地域開発・観光合同委員会次第

日時：令和５年１月１３日（金）１０：３０～
場所：日田商工会館　大ホール

１．　会頭あいさつ

２．　委員長あいさつ

３．　議　　題

（１）今後の委員会活動について

１．日田祇園集団顔見世の週末開催について

２．全国ＣＣＩ観光振興大会（水戸市）の参加について（観光委員会）

（２）次年度の委員会活動予算要求について

（３）その他

４．　閉　　会

「日田祇園山鉾集団顔見世」の週末開催への取組みについて

日田市は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている古い町並みや日本遺産に認定された国指定史跡咸宜園などをはじめ、水郷日田を象徴する屋形船など、多くの文化的・観光的資産が現存しており、これらの資産は日田市における多様な産業や雇用を生み出し、地域経済に大きく寄与しております。

また、「日田祇園の曳山行事」におきましては、平成８年に国重要無形民俗文化財の指定を受け、平成 28 年にはユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、日田市を代表する貴重な文化遺産となっております。

日田まつり振興会としては「日田祇園の曳山行事」を地域活性化における重点的歴史資産として捉えており、持続的・発展的な行事の実施を望んでおりますが、日田市の人口ビジョン推計値では 2030 年には 5.6 万人まで減少するなど、山鉾保有町内である市内中心部での人口減少傾向が顕著に表れており、曳山行事の担い手の減少等、今後は祭りの存続自体が危機的な状況となることが想定される中、日田まつり振興会、地域経済団体、市民が一丸となった支援体制の検討が重要となってまいります。

また、毎年７月に開催されます祇園祭には市内外から多くの方が観覧に訪れており、日田まつり振興会におきましても、「日田祇園集団顔見世」を日田祇園山鉾振興会のご協力を得ながら平成元年度より実施することで、日田市への誘客に取り組んでまいりました。

今後はアフターコロナ、ウィズコロナのフェーズを念頭に、福岡都市圏や近隣市町村を中心とした国内からの誘客や、アジア圏をターゲットとしたインバウンド需要の発掘による知名度の向上など、市内経済活性化への取組が重要課題となっており、更なる交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげてまいりたいと考えておりますことから、これらのことに大きな効果が期待できます「日田祇園集団顔見世」の週末開催の実現に向けた取組に対しまして、日田祇園山鉾振興会の皆様のご支援とご協力を何卒頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和４年３月１１日

日田まつり振興会　会長　原田啓介

日田商工会議所　会頭　十時康裕

(一社)日田市観光協会　会長　冨安裕子

「集団顔見世」の週末開催への要望に対する回答書

日田まつり振興会　　様
日田商工会議所　　様
(一社)日田市観光協会　様

「日田祇園の曳山行事」にご理解を頂きいつも多大なご支援ご協力を頂いておりますことに山鉾振興会会員一同深く感謝申し上げます。

さて年来からの要望でありました「集団顔見世」の週末開催の件、改めて３団体お揃いで今年３月に当方に申し入れを頂きました。

それを受け各山鉾団体で協議が行はれ、協議の結果を会長会で報告協議するということを何度も繰り返しました。今年の祇園までに結論をと考えましたが、コロナが終息に至らず山鉾が９基揃わない事から今年は見送り次年度分についてさらに協議する事と致しました。

賛成・反対の意見が交錯する中、最終的には行政・経済団体・観光関係者等多くの方が関心を寄せてくださっている今、将来的に人手不足や資金不足が間近に迫っている祇園祭の危機に対し、我々も改革の必要性ありとの結論に達しました。従いまして

来年度より駅前集団顔見世を木曜日開催から前の週の日曜日に開催することに致します。

しかしながら本番当日までに解決しなければならない問題点も多々存在しております。

例えば流れ曳き当日に行っていた神事が大原神社の日程の都合上日曜開催により当日にできず、曳山参加者がお祓いを受けられないことや、１か月単位で借り受けていた土地の賃料や小屋の足場材、最長２週間に渡る山番に関わる諸費用をどうするか等々であります。特に費用の面では山鉾各町の住民の減少もあり厳しい状況が続いており行政･経済団体のご支援を期待するものであります。

私共の現状をご理解頂きご協力の程お願い申し上げます。

令和４年１２月１５日

日田祇園山鉾振興会　　会長　　草野　圭次

日田祇園山鉾振興会会長印

「集団顔見世」の週末開催への要望に対する回答記録

日　時：令和４年１２月１５日（月）１３：３０～

場　所：日田市役所

出　席：山鉾振興会長　　草野会長、他３名
　　まつり振興会　　原田市長、十時会頭、冨安会長
　　地域開発委員長　　武内委員長
　　商工観光部　　石橋部長、大友観光課長、平川
　　教　育　庁　　文化財保護課、世界遺産推進室
　　事　務　局　　桒野、黒木

≪記　録≫

【実施イベントについて】

・集団顔見世はＲ５年７月１６日（日）夜開催決定（草野会長）
・会場を駅前に限定せず開催してもよいのではないか（草野会長）
・祇園山鉾振興会若手関係者により部会を立ち上げて、イベント等の企画を検討中、５月までに策定（草野会長）
・ウィークデーはスタンプラリー・夜市など（草野会長）
・前日の７月１５日（土）から駅前の賑わい（屋台等）を創出しては（原田市長）
・7/17～7/21 のウイークデーの取り組み（原田市長）
・顔見世から本祭までの１Ｗに駅前に平成山を常設して、市内外の機運を高める（諌山吉会長）
・令和５年度より週末開催を実施して、今後３年を目途に方向性やイベント内容を定めていく（武内委員長）
・中高生の浴衣デビューを見据えた「山と浴衣フォトコンテスト」（武内委員長）
・集団顔見世のイベントは形式的なもの（挨拶など）は省略して観光をメインに！（十時会頭）

【事業経費について】

・１月２０日に各町内からの見積もり計画（足場代・借地料など）が上がってくる（草野会長）
・祇園で稼げる仕組みづくりの構築（十時会頭）

【神事について】

・大原神社との調整が難航、神事の前に顔見世の可能性もあり、継続的な前週日曜日の神事開催の確保が課題（草野会長）
・令和５年７月１４日（金）に豆田４町は神事可能、神社と調整済み（草野会長）

【人員の確保について】

・教育委員会を通じて子供たちの体験教育の一環として（草野会長）
・曳き手、作製、解体作業も含めた人員の確保（原田市長）

・体験ツアーの作成、旅行代理店による法被・草鞋・足袋・雪駄などのセット販売（原田市長）
・大学生など、市外への参加者募集を行う（諌山吉会長）
・林工など高校生に正式に参加依頼（武内委員長）

【備品について】
・動員者の法被の確保（草野会長）
・パイパイ、わらじの製造者の高齢化により確保が困難。林工や団体への作成依頼も検討（草野会長）
・備品などの経費的な課題の解決（十時会頭）
・共通の法被作成、できればスポンサー名を入れる（十時会頭）

◆◇◆今後の取り組み◆◇◆
・協議会を設立して部会ごとに協議・検討する（事務局は商工会議所）
・「組み立て」「集団顔見世」「本祭」「解体」などそれぞれにするべきこと、足りないことなどを把握して部会として協議・検討する
・各町内の同意を得て２月を目途にプレスリリース

◆◇◆今後の課題◆◇◆
・令和５年度の集団顔見世に関する経費、予算の積み上げ（１月２０日以降に）
・継続的な人員の確保への取り組み
・持続可能な事業費の確保に向け仕組みづくり（ふるさと納税、法人化など）

あなたの
道を
見つけに
水戸へ

全国商工会議所
観光振興大会2024 in 水戸

2024.2.21(水)▶23(金)

●全体会議会場
「水戸市民会館」(2023年7月開館予定)

●全体交流会会場
「アダストリアみとアリーナ」

●分科会会場
「水戸市民会館」ほか

主催：日本商工会議所／水戸商工会議所　　共催：茨城県商工会議所連合会

自分の道を見つける旅へ。

～刺激を求めての観光から、あなたの答えを見つける観光への転換～

水戸には道があります。
歴史を、文化を、思考を、そして感性を育んできた道があります。
極めれば、すべては道に通じる日本。
その原点が色濃く水戸には活きています。
刺激を求めての旅も良いけれど、今は、ゆっくりと足元を見つめる旅に出掛けたい。
歩けば、道端の何気ない草花も目にとまります。
積み重ねてきた歳月が、あなたを包みます。
見るというより、感じる旅へ、思索する旅へ。
水戸の道、それはきっとあなたの「答え」を見つける道になります。

2024年
2月21日（水）

- イントロダクション
  場所：水戸市民会館大ホール、各分科会会場
- 分科会
  場所：水戸市民会館、市内ホテル
- 全体交流会
  場所：アダストリアみとアリーナ

22日（木）

- 全体会議
  場所：水戸市民会館
- エクスカーション
  日帰りコース、1泊2日コース

23日（金）

- エクスカーション

伊東豊雄建築設計事務所・横須賀満夫建築設計事務所 共同企業体

水戸市民会館

水戸市では、「多様な人々の交流と多彩な文化が織りなす、ひと・まちが輝くステージ」の実現を目指し、芸術文化活動の拠点、にぎわいづくりの拠点となる水戸市民会館の整備を進めています。2023年7月に開館する水戸市民会館は東日本大震災で被災した旧水戸市民会館を中心市街地に建て替えし、賑わいの拠点として整備を進めています。最大2,000人が入る大ホールはじめDXに対応した最新の設備で新たな時代のコンベンションを体験いただきます。

アダストリアみとアリーナ

2019年に茨城県で開催された「いきいき茨城ゆめ国体」に合わせて、水戸市の東町運動公園に建設されたアダストリアみとアリーナはB1バスケットボールチーム「茨城ロボッツ」のホームコートにもなっており、スポーツをはじめ各種催事が行われております。

JR利用の場合

東京……水戸駅（約1時間15分）
仙台……水戸駅（約3時間50分）
大阪……水戸駅（約4時間）

飛行機利用の場合

北海道…茨城空港（約1時間25分）
神戸……茨城空港（約1時間10分）
福岡……茨城空港（約1時間55分）
沖縄……茨城空港（約2時間40分）

高速バスの場合

東京……水戸駅（約2時間10分）
仙台……水戸駅（約5時間15分）
名古屋…水戸駅（約8時間）

お問い合わせ
水戸商工会議所　〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館3F
TEL 029-224-3315　FAX 029-231-0160　MAIL mito@inetcci.or.jp　HP https://mito.inetcci.or.jp/

令和4年度 委員会事業・予算

委員会名	事業名	予算額
地域開発委員会	地域振興事業（日田祇園集団顔見世の週末開催へ向けた取組み） 【観光委員会との共同事業】	0
	日田陣屋復元のための機運醸成事業(小冊子の作成)	100,000
	史跡復元視察研修（長崎歴史博物館）	150,000
	地域振興事業（日田市移住者を対象としたアンケート調査の実施）	50,000
	合計	300,000

観光委員会	観光振興研修事業（全国商工会議所観光振興愛媛大会への参加）	500,000
	地域振興事業（日田祇園集団顔見世の週末開催へ向けた取組み） 【地域開発委員会との共同事業】	300,000
	九商連観光委員会・県商連観光ネットワーク協議会との連携事業	0
	日田市日本遺産活性化懇話会との連携事業	0
	合計	800,000

令和５年度　予算要求書

委員会名　　観 光 委 員 会

事業名	①全国商工会議所観光振興大会２０２４ｉｎ水戸 (R5.2.21～23)への参加
金額	2,320,000
事業内容	観光振興大会２０２４は茨城県水戸市で開催(R5.2.21～23)される予定であり、詳細は未発表 ながら、旅費・宿泊費・登録料の概算で見積もっても一人当たり14万5千円程度の費用を要する。 水戸市には『弘道館』があり、日田市の『咸宜園』と共に教育遺産として登録されている。 教育遺産世界遺産登録推進協議会の関連から、会頭・担当副会頭を含む観光委員会１６名の 最大金額で計上。大会登録料や宿泊費等の公式発表が未だないため、あくまで仮定での金額。

事業名	②日田祇園集団顔見世の週末開催へ向けた取り組み
金額	0
事業内容	日田祇園の曳山行事がユネスコの無形文化遺産に登録され、以前より注目度が上がってきた今を好機と捉え、 市内各団体の賛同を得て協議会を立ち上げた。今後、地域開発委員会と共同で具体的に協議を 重ねるため、本事業における予算については地域開発委員会に一本化する。

事業名	③九商連観光委員会・県商連観光ネットワーク協議会への参画
金額	180,000
事業内容	九商連観光委員会並びに大分県商工会議所観光ネットワーク協議会へ参画し、市や県の境界を超えた 広域での観光ルート作成や広域観光振興事業へ積極的に取り組むものとする。 九商連観光委員会事業にリアル参加することを前提として上記予算を計上する。 （会頭、担当副会頭を含む１６名×諸費用11,250円＝180,000）

事業名	④日田市日本遺産活性化懇話会への参画
金額	0
事業内容	日本遺産に認定された咸宜園を活用しての地域振興事業に取り組むために行政（市）と地元住民が中心と なり組織している日田市日本遺産活性化懇話会への積極的な出席と共に、取り組む事業に関しても積極的 に協力するものとする。